

甲南女子学園
創立一〇〇周年記念

浮世方繪、名品展

KAMIGATA
UKIYÖ-E

2021.11.21.日
～12.21.火

開館時間／10:00～18:00

休館日／月曜日

主催者／甲南女子学園

会場／兵庫県立美術館ギャラリー棟3階

問い合わせ先／甲南女子大学図書館

電話078(413)3097 toshokan@konan-wu.ac.jp

入場
無料





上方浮世絵 名品展 KAMIGATA UKIYO-E



「二代目嵐吉三郎の油屋与兵へ、初代叶眠子のあづま」 国広画 文化13年(1816)



「二代目尾上多見蔵の团七九郎兵衛」
春芝画 文政12年(1829)



「初代中村鶴助の加藤与茂七」
北松画 文政6年(1823)



「京屋ゑみの吉野静」 絵師未詳 文政11年(1828)
「三代目中村歌右衛門の着せ替え」 長秀画 文政9年(1826)
「三代目中村歌右衛門の枕久」 国広画 文政6年(1823)

甲南女子大学図書館は文化・文政期(1804~30)に出版された715枚の上方浮世絵を所蔵しています。浮世絵といえば北斎や広重といった江戸の絵師たちの作品を思い浮かべますが、実は上方(京都・大坂)でも土地の好みに応じた独自の浮世絵が出されていました。

浮世絵には、歌舞伎役者を描いた「役者絵」、女性を描いた「美人画」、名所を描いた「風景画」などの種類があります。役者絵は舞台面を描くことが基本ですが、本学にはこれ以外に、口上図や役者の日常を描いた作品など、聴覚との繋がりの強さを示す役者絵も数多く残されています。

また、上方は江戸に比べ美人画の比率が極端に低いのですが、神社の祭礼時に遊女らが仮装して練り歩く姿を描いた「ねりもの図」や、芸妓の花見図、遊女が芸事を嗜む姿など、珍しい美人画も所蔵されています。

このような鑑賞用の浮世絵だけでなく、手を加えて遊ぶおもちゃ絵や実用的な柱絵なども豊富にあります。切ったり組み立てたりする浮世絵が、もとのままの形で残されていることは大変貴重なことです。

新型コロナウイルスのため1年遅れとなりましたが、甲南女子学園創立100周年を記念し、所蔵浮世絵の全体像を示す初めての展覧会を開催することとなりました。豊かな上方文化の世界をお楽しみいただければ幸いです。

オンライン講座

「甲南女子大学図書館所蔵上方浮世絵について」

講 師／北川博子(甲南女子大学非常勤講師、本展監修者)



開催日時／2021年11月8日(月)15:00~16:30

形 態／ビデオ会議システムZOOMによるリアルタイム配信
(見逃し配信あり)

*リアルタイム、見逃し、いずれの配信も事前のお申し込みが必要です。

以下の申込サイトから、お申し込みください。

<https://www.kokuchpro.com/event/9cbeaf15d2e5af237f28d7a2dd57d4aa/>

申込期間：8/24(火)～11/1(月)

その他の関連イベントにつきましては、以下のホームページをご確認ください。

<https://www.lib.konan-wu.ac.jp/>

会場(兵庫県立美術館)へのアクセス



●阪急電車：神戸線王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分

●JR：神戸線灘駅南口から南へ徒歩約10分

●阪神電車：岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南へ徒歩約8分

展覧会についてのお問い合わせは甲南女子大学図書館までお願い致します。

電話078(413)3097 toshokan@konan-wu.ac.jp